

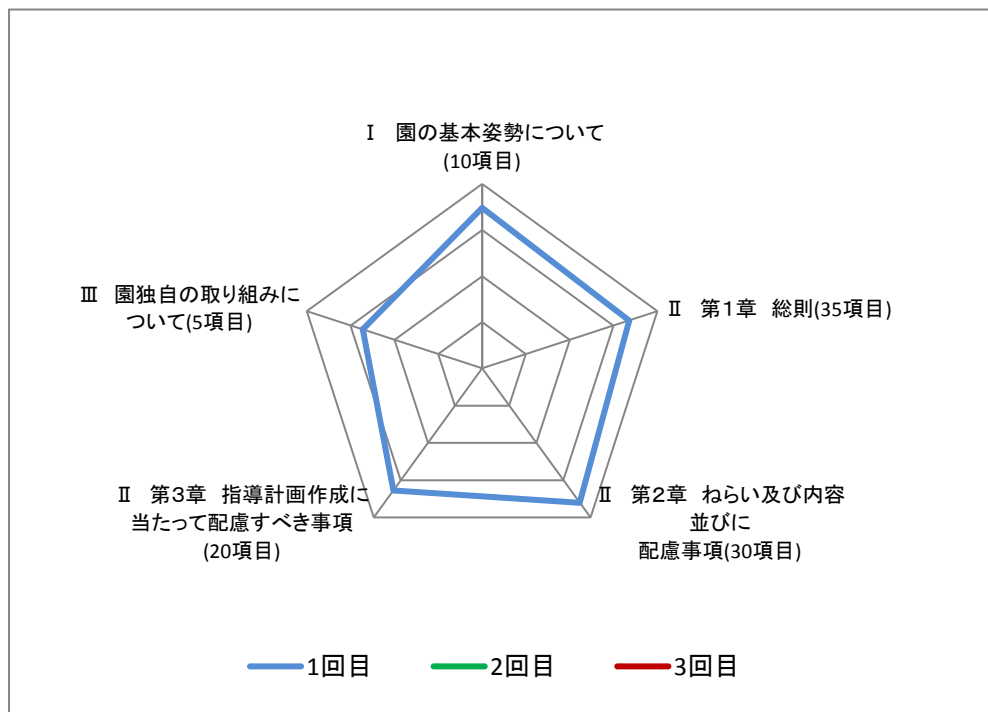
<評価方法>

十分理解できている(十分できている)…◎3点 理解している(できている)…○2点 ふつう…▲1点 努力が必要…×0点

集計結果（チェック3回分）

回答人数		18 人			
入力してください					
評価		29年度 職員自己評価			
		◎	○	▲	×
I	園の基本姿勢について(10項目)	48	102	28	1
II	第1章 総則(35項目)	162	334	115	12
	第2章 ねらい及び内容並びに配慮事項(30項目)	173	286	78	1
	第3章 指導計画作成に当たって配慮すべき事項(20項目)	74	205	76	1
III	園独自の取り組みについて(5項目)	11	42	30	4

レーダー



	今年度の評価点	今年度の課題点	次年度の改善点 (教育・保育や自己資質等で 次年度に改善すべき点)
園全体評価	<p>○開園2年目も、大きな事故なく安心・安全に過ごすことができた。</p> <p>○各クラスともに、保護者へ、みそらこども園と共通の認識を持ってもらうために、子どものあゆみ(発達の確認表)を作成し保護者に発信できた。</p> <p>○職員間全体で体調管理に気を付け年間を通しての欠席数が昨年度より大幅に減少した。</p>	<p>×登園から降園まで子どもが見通しをもって主体的に活動できるように、人的環境及び物的環境を整えることがどのクラスも大切であると感じた。来年度は、日々の子どもの導線を見直し、園内・園外研修を通して質の向上及び環境を整備していく必要がある。</p> <p>×日々の生活や行事、避難訓練時など連絡や報告・相談が行き届いていない時がみられた。</p>	<p>・地域が参加できる行事を増やし魅力あふれる活動を通して、子どもの経験や体験を増やす。</p> <p>・園舎の特性を活かして、異年齢との関わりを増やし、子ども同士で学びあう機会を積極的に取り入れる。</p> <p>・来年度も「安心安全」な教育保育活動を行う。</p> <p>・主体的・対話的で深い学びを実践するため、子どもの声・姿を通じた教育・保育の実践を進める。</p>